

発行 市川市消防局

〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号  
TEL 047-333-2111(内) FAX 047-333-8181  
ホームページ http://www.city.ichikawa.lg.jp/

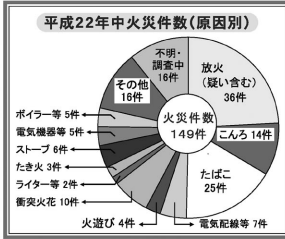


☎ (333) 3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数(1月末日現在)

- ◆火災 8件【前年比 -14件】
- ◆救急 1,794件【前年比 +135件】



昨年、市川市で発生した火災は149件で、平成21年の123件と比べ26件増加しました。  
この149件の火災を種別ごとにみると、住宅などの建物が増えた。「建物火災」が88件、次いで「ゴミや枯草などが燃えた」「その他火災」が46件、車両やバイクなどが燃えた「車両火災」が15件ありました。  
「建物火災」は、火災件数全体の59%を占めており、特に戸建住宅やアパート、マンションといった家庭からの出火が多くなっています。  
また、火災による死者は6人、負傷者は24人、損害額は約2億2500万円で、多くの尊い命と財産が失われております。

## 平成22年中の火災統計



## 火災原因のトップは放火(19年連続)



火災予防を心がけ、家の中だけでなく家の周囲も含めて火災予防を万全にしましょう。また、大切な命と財産を守るため、住宅には住宅用火災警報器を設置しましょう。

「家の周りに燃えやすい物を置かない」「寝たばこやたばこの投げ捨てはしない」「調理中から離れない」など、みなさん一人ひとりが火災の発生を防ぐためには、

昨年発生した火災を原因別にみると、最も多かったのが放火(放火の疑いを含む)で36件、これは19年連続トップとなります。次いで15件が25件、ところが14件で、これら3つの原因が毎年上位を占めています。



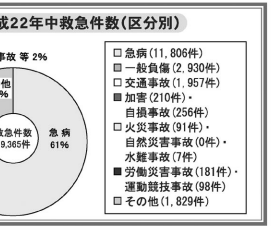
# 平成22年中 災害統計

「このうとどばを離れるときは、必ず火を消しましょう!」

「火災の発生を防ぐためには、家の周りに燃えやすい物を置かない」「寝たばこやたばこの投げ捨てはしない」「調理中から離れない」など、みなさん一人ひとりが火災の発生を防ぐためには、

昨年発生した火災を原因別にみると、最も多かったのが放火(放火の疑いを含む)で36件、これは19年連続トップとなります。次いで15件が25件、ところが14件で、これら3つの原因が毎年上位を占めています。

昨年発生した火災を原因別にみると、最も多かったのが放火(放火の疑いを含む)で36件、これは19年連続トップとなります。次いで15件が25件、ところが14件で、これら3つの原因が毎年上位を占めています。



昨年、市川市で発生した火災は149件で、平成21年の123件と比べ26件増加しました。この149件の火災を種別ごとにみると、住宅などの建物が増えた。「建物火災」が88件、次いで「ゴミや枯草などが燃えた」「その他火災」が46件、車両やバイクなどが燃えた「車両火災」が15件ありました。

# 春の全国火災予防運動

3月1日~7日

## 「消したかな」あなたを守る 合言葉

問い合わせ 北消防署  
TEL 374・0119

内容 避難・誘導訓練、初期消火訓練、救助、救出訓練一斉放水など

場 所 介護老人保健施設 グレースケア市川 (大町43-13)

日時 平成23年3月1日(火) 午前10時10分から

「消したかな」あなたを守る合言葉

3月1日(火)から7日(月)の一週間、全国一斉に「春の全国火災予防運動」が実施されます。

この運動は、これから春先にかけて気温が変化するとともに空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となることから、市民のみならず火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と大切な財産を守ることを目的として行われます。

消防局では、火災予防運動の一環として消防総合訓練や防火ボスターの掲示などを、火災予防を呼びかけます。みなさんも火の取扱いに十分注意して、火災予防に協力をお願いします。

火災予防運動の一環として、施設関係者と消防職員による総合訓練を行います。

「消したかな」あなたを守る合言葉

3月1日(火)から7日(月)の一週間、全国一斉に「春の全国火災予防運動」が実施されます。

この運動は、これから春先にかけて気温が変化するとともに空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となることから、市民のみならず火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と大切な財産を守ることを目的として行われます。

消防局では、火災予防運動の一環として消防総合訓練や防火ボスターの掲示などを、火災予防を呼びかけます。みなさんも火の取扱いに十分注意して、火災予防に協力をお願いします。

# 子供と高齢者を 火災から守ろう！



最近、毎日のようにテレビや新聞等で火災事故のニュースが伝えられています。建物火災のほか住宅火災が圧倒的に多く、その住宅火災で亡くなった方の約6割が65歳以上の高齢者です。高齢化社会が進むにつれて、高齢者だけの世帯も増えてきて、高齢者が多くなるとともに、核家族化の進展により子供はただで過す時間が長くなることにより、火災発生の危険度は増加傾向にあります。

## 一番の原因は「逃げ遅れ」

高齢者に限らず火災で亡くなる原因で全国的に最も多いのが「逃げ遅れ」です。火災の発生時間を見ると、睡眠時間帯である22時から翌朝6時までの時間帯の死者が約半数を占めており、火災の発生に気づかないために、逃げ遅れて亡くなる方が多いようです。火災に気がつくのは、煙や炎を見たリ、物が焦げる臭いを感じたり、パチパチと火が燃えているような音が聞こえるなど、五感によるものがほとんどですが、高齢者の場合は視力や嗅覚、聴力が低下し、火災に気づくが遅れてしまったり、判断力や体力の低下により、万が一のときにすばやいやい行動が取れないことも考えられます。また、子供達だけで在宅の場合



## 「着衣着火」にも注意しましょう！

合も判断力がなく、すばやいやい行動ができないことも多くあるため、住宅用火災警報器の設置で火災の発生を早く知り、できるだけ早く逃げることができると、被害者を減少させる有効な手段です。

調理中にコンロの炎が身に付いている衣類に燃え移る「着衣着火」も多く、他にもろうそくや冬場に使用する暖房器具などでも原因になっています。衣類は一般に燃えやすい素材の商品が多いので、火気を扱うときは衣類に燃え移らないよう十分に気を付けなければなりません。また燃えにくい防災製品を使用すること



## 悪質な訪問販売に注意！

消火器と同様に、高齢者を狙って住宅用火災警報器などを高額な値段で勧誘し強引に販売をする悪質な訪問販売には注意してください。消防職員が住宅防火訪問などでご家庭に伺うときは身分証明書として消防手帳を提示しますので確認をお願いします。「おかしな」と思ったら、すぐに近くの消防署や消防局予防課まで連絡してください。



TEL 333-2116 (平日9時～17時)

## 隣近所の協力体制を作る

もし火災が起きてしまった場合は、「火事だ！」と大声で叫んだり、大きな音を出したりして周囲に火災を知らせる助けを求めましょう。万が一のときには、家族はもちろんのこと隣近所で助け合える関係になっていくことが大切です。ふだんから隣近所の協力体制を作り、地域ぐるみで防火対策を万全にしましょう。



## 上級救命講習

- 受講対象者  
普通救命講習Ⅰを受講済みの方
- 日時  
・平成23年3月13日(日) 午前10時～16時 定員30名  
・平成23年3月18日(金) 午前10時～16時 定員20名

## 普通救命講習Ⅰ

- 受講対象者  
市内在住または在学、在勤者で中学生以上の方
- 日時  
・平成23年3月16日(水) 午前9時～12時 定員30名(無料)
- 講習内容  
普通救命講習Ⅰ(3時間)
- 場所  
八幡1丁目8-1  
市川市消防局5階ホール  
消防局 電話 333-2111(代)



※申込みは、上級救命講習・普通救命講習いずれも、平成23年3月7日(月)午前9時から受付を開始します

～ 命をつなぐ連携プレー ～

## 住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

市川市火災予防条例では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。まだ、設置されていないご家庭は、早期の設置をお願いいたします。なお、65歳以上の市民税非課税世帯には、警報器等給付事業を行っています。

### 住宅用火災警報器の奏功事例

- 【事例1】  
台所のガスコンロになべをかけ調理したまま遠出してしまったが、隣人が火災警報器の音に気づき、119番通報した。
- 【事例2】  
灰皿の吸殻をゴミ箱に捨て、隣室にいたところ、火災警報器の音に気づき、ゴミ箱が燃えているのを発見した。



※住宅用火災警報器は、寝室、寝室のある階の階段、台所に設置が必要です。

### 【お問合せ】

- ・住宅用火災警報器について 消防局予防課 TEL 333-2116
- ・警報器等給付事業について 地域福祉支援課 TEL 334-1152

## 東洋蘭展示会

- 【日時】  
平成23年3月5日(土)・6日(日)  
午前10時～午後4時
- 【場所】  
八幡1丁目8-1 市川市消防局 5階ホール
- 【主催】  
消防局花と緑の愛好会・市川東洋蘭愛好会

